

その名大口

誇りと愛着のある学校

H 2 8 年 4 月 2 2 日

「勉強法」 3 学年 前田裕一教頭

受験を意識した三年生になりましたか。今日は、勉強のコツについて話をします。

それは、自分の弱点にポイントを絞って、繰り返し勉強する。例えば、数学の図形問題が苦手ならば、そういう問題。英語なら、単語や文の形を覚えるなどできないところを何回も勉強。得意なところは、息抜きとして解く。テストの得点に一喜一憂せず、弱点を克服するように努力する勉強方法を身につけましょう。

① 勉強になっていない勉強法

勉強嫌いの人は、とにかく勉強を避けようとしめます。そして、仮に何か問題集を解く場合でも、ちょっと難しそうな問題は避けて、出来そうな、簡単な問題を選んで解こうとします。そして解けたら、答えあわせをして、安心し、勉強をやめてしまいます。この勉強法

は成長がゼロです。たくさん勉強したという自己満足の勉強法です。これでは、テストで今まで以上の点を取ることは出来ません。勉強では、何か一つでも二つでも、新しく「出来る」ようになる工夫が

点数アップになります。しかし、4/12の対面式と部活動紹介。緊張の面持ちの新入生を、先輩が笑顔で歓迎。難しすぎる問題に何時間もかけてもよくありません。自分にはちょっと難しいかな、もう少し頑張れば何とかかなりそうな問題にチャレンジし、そしてそれを克服することが大切です。これまで、出来る問題ばかりを解いていた人は、今日から変えましょう。

② 3 分間勉強法について

最後に、3 分間の自分の行動をイメージします。例えば「テーブルに教科書とノートを出して、数学の連立方程式の問題を5 問解く…」みたいにイメージしたら、その通りに行動します。とりあえず3 分間はその通りにやる。3 0 分間でも3 時間でもなく、最低3 分間やる。これは、3 分間で勉強をやめろって事じゃなく、3 分間すぎて、イヤならやめてもいいということ。(とりあえず3 分間…とってた

のに3 0 分間続いていたりする)

朝登校して、補習が始まるまでの3 分間。補習が終わってからの3 分間、あらゆるところの隙間時間に3 分間勉強法を取り入れましょう。イヤなら無理はしないでやめることも大切。どうしてもイヤな時は、部活とかで疲れている時だから、絶対にやめてしまう方がいい。ただし、この勉強法のコツは『毎日つづけること』毎日続かなければ、たとえ1 日6 時間の勉強したって意味がない。3 分間なら毎日できる。カゼひ



開校記念一日遠足(4/15)。3 年生は徒歩で曾木公園。

いても、トイレの中でも、3分間ならノートに英単語を書きなぐったり出来る。イヤなら3分間すぎたらやめればいい。でも「毎日とりあえず3分間やる」だけは、毎日絶対を守ること。

「無理」 (松下幸之助)

苦しかったらやめればいい 無理をしてはならない。

無理をしないとイケないのは、レベルが低い証拠

真剣に生きる人ほど 無理はしない。

無理をしない というのは、消極的な意味ではない

願いはするが 無理はしない。努力はしても 天命に従う。

これが疲れないコツである。



仲間との楽しいお弁当タイム

「青山学院大学駅伝部強さの秘密」 2学年 原田 定先生

先週金曜日の遠足で郷土の史跡を巡りましたが、場所は知っていても、人物、歴史や由来は知らないことが多くて、新納忠元公の偉業を始めとして改めて再発見した事が多かったのではないかと思います。今後郷土で活躍する人はもちろん、他地域で活躍予定の人も「郷土を語り、説明できる」ということは、現代の「グローバルな国際社会において日本を語れる」事と同様に大切なことです。資料を基に郷土の歴史、史跡をまとめておきましょう。

さて、今日は昨日のTV番組に出演されていた青山学院大の駅伝部監督の原晋さんの話をします。青学の駅伝部顧問となり初めて部員と会ったとき、部員たちのまとまりのなさ、バラバラ感に驚いたそうです。現状では箱根駅伝の優勝にはほど遠いということで、先ずできる事は何かということで、全員一緒に住んでいることを生かし、監督と部員、また部員達同士で語り込みを行い、共通なルールを作ったということです。それは、第一に「規則正しい生活をする」消灯22時、早朝練習を5時30分からする。第二に目標をチームと個人で「長期・中期・短期」で立て細分化し、定期的に振り返ることです。具体的にはチームでは長期：箱根駅伝優勝、中期：夏までに部員○○○km走り、チームの合計タイム○○分短縮する。短期：一ヶ月後個人の記録を○○秒短縮しチームでは○○○秒短縮する。第三は、「笑顔を忘れない」ことでした。最終(長期)目標だけ決めていても、漠然としていて具体的な行動につながらない。細分化することで現時点でのやるべき事が見えてくる。達成率をチェックし、モチベーションを高めていく。自分たちで話し合って目標を決めることで、やらされているのではなく、自分たちのためにやっているとの意識が高まる。集団の明るさがないと和も保たれない。どれも、皆の高校生活にも当てはまる事だと思えます。例えば、長期：来年度希望の進路を達成、中期：2年次進路先を固める、短期：1学期希望の大学・職種を絞る、学力向上、超短期：毎日の学習時間を増やす。(平日40分→2時間 まずは質より量だ)。部活動でもしかり。昨年度の体育祭でも短時間でも健闘した応援団、優勝したパネルの部。個人でしっかり決めたことや集団で話し合ったことを実践できれば必ず個や集団の向上につながります。この1年確実な成長の証を示したいものです。



昨年度から、2年生は郷土に誇りを持つと「新納忠元公関連史跡めぐり」を実施。今年度も、郷土史家の原田純一先生と福島洋子先生に案内していただきました。大口高校→大口城跡・地頭屋敷跡→竹の瀬戸古戦場跡→秀吉の腰掛石→曾木の滝公園(昼食)→関白陣跡→下手水天神社→堂崎原の戦い跡→新納忠元神社周辺史跡→大口高校写真上は堅固な山城の大口城跡。下は秀吉が新納忠元を引見した関白陣跡。東郷平八郎直筆の碑を眺めています。